

## 【VIP限定】ナイフで64か所刺された全盲のマッサージ師

こんにちは、てんです。

=====

受講生かつ

一定の開封率がある人だけに絞って  
配信しているVIP限定メルマガです。

(一般読者には  
届かないメルマガなので、

VIPでの内容は  
あまり流失しないようお願いします)

=====

本日、貴重な体験をしまして、

生きる希望をもらえたので、

限定でシェアいたします。

結論としては、

「人生何とかなる  
&  
最終的には楽しんだもん勝ち」

です。

日本で、  
なんとなく駅前にある  
マッサージ店に入りました。

僕はマッサージも  
健康投資だと思っているので、

定期的に  
マッサージやら  
整体やら行きます。

今回はちょっとオンボロ系で、

そんなに期待も  
できない感じの店舗でした。

先に会計を済ませて、

にっしーさん(あだ名)  
という男性から、

「今日はよろしくお願いします」

と挨拶をされました。

なんとなく、目が合っていない感じ。

黒目が違う方向を向いています。

僕が言葉を発する前に、

「あ、僕、全盲なんです。

見えてないけど、見えてるんで。

ちゃんと施術は  
おこないますので  
安心してくださいね」

とニコニコ。

全盲？！とびっくりして、

「え、全盲？！」

とそのまま言ってしまった。

隣にいた女性が、

「そうなんです。

何も見えていないですよ。

でも腕は確かなので」

とコメント。

全盲のにつしーさんは、

「ほんと何も見えないですね。

遺伝性ものです。

30歳までは

ケーキ職人を

やってたんですけどね。

あ、でも、人間が

赤いエネルギーで

見えたりはします。

あと原子が見えます。

原子。

変な映像も見えますよ」

と言いました。

それを聞いていた  
女性のサポーターが、

「もう、また変なこと言っで。すみません」

「原子が見えるって…。  
なんなんでしょうね。  
その前に現実を見ましょうね」

と言い放ちました。

少しトゲのある感じ。

全盲だけど、

赤いエネルギーが見えたり、

原子？が見える世界。

なんとなくの光を  
かすかに感じたり、

映像が浮かんだり  
するみたい。

僕は思わず、

トゲのある女性に対し、

「いやでも、すごいですよ。

マッサージなら  
目が見えなくても  
できるのか。

赤い光や  
原子が見える世界、  
素晴らしいじゃないですか。



僕は興味あるし、  
そういう人 好きですよ」

とコメントしました。

その後、

僕とにつしーさんだけになり、

まずは足のマッサージから始まります。

「なんでも話しますよ。

お客さん(僕のこと)、  
不思議な空間に  
迷い込んでしまいましたね」

とニコニコ。

思わず、色々と聞いてしまいました。

まず、

「全盲ってどうなんです？  
やっぱりしんどい？」

とストレートに  
問いかけてしまった…。

これ場合によっては  
失礼なので、注意ですね。

反省反省。

でも、にっしーさんは、

「全盲になってからは、ラクですね」

とニコニコ。

一瞬、思考停止してしまいました。

全盲＝ラク？？？

どういうこと？？？

どんな世界線？？？

「中途半端に見えると、  
1人で色々とやってしまうので  
危ないんですよ。

僕も昔は  
まだボヤけて  
見えていました。

顔も少し分かったんですよ。

でも今は何も見えない。

全盲になってからは  
誰かが助けてくれるし、  
危ないことが減ったので...  
ラクです」

言葉が重すぎて、  
思わず涙ぐんでしまいました。

一体どれほどの葛藤や  
苦しみがあったのだろうか。

「割り切ることも大事ですよ」

と言っていたけど、

割り切るまでに一体何年、  
何十年かかったのだろうか。

僕が涙ぐんでいても、  
泣いてることに  
一切気付かれません。

なんだか変な感じです。

「体感としてね、  
日本人の7割は優しいですよ。

街中で結構助けてくれます。

女性の方が多いかなあ。

いつも誰かに助けられて、

支えられて、  
生きています。

駅員さんとも  
仲良いんですよ。

交通系のカードとか、  
言えばチャージしてくれます。

人間関係の中で、生きてるんですよ」

駅員さんと  
仲良しの世界線とか  
経験がないので、

イマイチ  
想像できませんでした。

「盲学校の卒業後、  
7割は引きこもりです。

僕みたいに  
社会に出てる人は  
少ないかな。

でもマッサージはいいですね。

姿は見えないけど、  
触れ合えるし、  
心で繋がれる。

お客様の姿もわからないけど、  
多分筋肉や骨格とかの感じ、  
昔スポーツをやってたでしょ？

右腕を使うスポーツかな。

あ、あと、  
良い仕事を  
してるでしょ」

?! 占い師かな???

と思いました。

ニコニコしています。

僕もマッサージのお店を  
出資してやっていたんだよと  
言おうと思いましたが、

ヒアリングに徹しました。

「盲学校の人たちでね、  
生まれつき全盲の人で、  
ものすごい嗅覚が鋭い人がいてね。

100m先の匂いが  
分かったりするんですよ。



あ、カレーの匂いだ〜とか。

信じられないでしょ？

でもほんとにあるんですよ。

僕も耳や鼻の感覚は鋭いですよ。

目が見えない分、  
別のところで  
補ってるのかもしれませんがね」

話の中で、

そういえば趣味とかって  
あるのかなと思い、

聞いてみました。

僕の狭い価値観の中では、  
全盲の人の趣味が  
あまり思い浮かばないのです。

「趣味？？？漫画を聴くことかな」

・・・漫画を聴く？！

はじめて聞く組み合わせでした。

漫画って読むものだと  
思っていたからです。

「漫画を聴くというか、  
漫画を見る・漫画を読む、だな。

全盲の人は  
漫画を聴くことを、  
最初から"漫画を見る"と言うよ」

「あとは歌が大好きさ。

毎日歌っている。

人は楽しく元気に生き、  
毎日歌を歌ってれば良いんだよ」

また思わず涙ぐんでしまったけど、  
全く気付かれないので凄いです。

1時間の中で、  
衝撃的な過去についても  
聞かせてもらいました。

なんか、10代の頃、

兄貴が事故で脳に障害を負い、  
統合失調症？になってしまい、

「弟にころされる」

と錯覚し、

にっしーさんのことを  
刺し殺そうとしたみたいです。

実際に傷も見せてもらったけど、  
当時64か所ほど刺されたとのこと。

兄貴は祖母にも暴力を振るい、  
それに耐えきれなくなった祖母は  
池で自害をしました。

「絶望」という言葉では  
言い表せないレベルでの絶望。  
さらには遺伝性の全盲が  
30歳の頃から発生。

でも、

おそらく今45歳くらいの  
にっしーさんは、

ニコニコと  
たくましく生きていました。

僕が、

「なんだか希望をもらいました。

自分もがんばろうって思えた。

世の中大変なこともあるけど、  
がんばろうって」

と言うと、

「そう言われると救われます。  
人生、意外となんとかなるんですよね。  
だから楽しく元気に生きていくのが大事ですわ」

「どんな状況でも希望は持ち続けた方がいい」

とのこと。

ちなみに悩みを聞いたら、

女性と交際できないことが悩みだと。

これってなかなか  
TVやメディアでは  
クローズアップされないけど、  
  
難しい問題だなと思いました。

だって全盲同士の恋愛は  
現実的に厳しいだろうし、  
(生活が崩壊する)

相手側が健常者の場合、  
要介護レベル4～の介護が  
一生つきまといます。

でも仕事楽しいし  
これはこれでいい人生だ、  
とのことでした。

僕も、

「そうですよね。

楽しく心地よく  
生れているなら  
それで十分ですよね。

尊いことです」と。

「意外と日本人って  
優しい人ばかりだから。

今日も明日も  
支えてもらって



生きていきます。

お客さんも、  
目が見えない人には  
優しくしてね」

とニコニコ。

たしかに、振り返ると、

バチカン市国で  
警察にブチ切れられたりとか、

オランダで  
チャリに乗ってる人から  
怒られたりとか、

イギリスで  
偽警官に  
狩られそうになったり、

イタリアで  
スリ師とバトルしたり、  
エジプトで  
馬小屋にプチ監禁  
とかもありましたが、

世界と比較すると、

日本は平和で、

日本人は優しいと思います。

まあ悪く言えば  
平和ボケではありますが、  
それでも優しい人は優しい。

なぜかホームレスには  
見て見ぬフリだけど、

障害者には  
優しい人が多いと思います。

彼の、

「体感としてね、  
日本人の7割は優しいですよ。

街中で結構助けてくれます。

女性の方が多いかなあ。

いつも誰かに助けられて、  
支えられて、  
生きています。

駅員さんとも  
仲良いんですよ。

交通系のカードとか、

言えばチャージしてくれます。

人間関係の中で、生きてるんですよ」

という言葉が強く残っています。

全盲になってからは、ラク。

苦しさからの解放。

誰かが助けてくれて、  
あたたかい人間関係の中を  
生きている。

希望をもらいましたし、  
人生なんとかなるんだな…！  
と素直に思いました。

「そうそう...

受付のお姉さんは色盲で、

世界が白と黒、

モノクロにしか  
見えてないんですよ。

意外でしょ？

普通の目をしてたでしょ。

モノクロの世界、

これはこれで  
昼と夜の違いが分からなくて、

結構悩んでるらしいですよ。

朝も昼も夜も  
全てがモノクロですからね。

僕は何も見えていないんで。

逆に悩みがないのかも。

無の世界。

これはこれで自由ですね」

と最後に言っていました。

ほんと、  
なんだか不思議な  
マッサージ屋でした。

パラレルワールドに  
迷い込んだのかな？？？  
って感じ。

今回の限定メルマガで、  
少しでも雰囲気と希望が  
伝われば幸いです。

ぜひ感想や  
アウトプットを  
ください。

返信見てます。

ではまた！

☆過去のVIP限定メルマガの全てにアクセスできる  
裏メディア「SECRET BOX」への入口

<https://f-lifelog.com/secretbox/>

pass : tenvip

※ぜひブックマークなどしておいてください  
なお流出厳禁でお願いします

—【発行者情報】—てん公式メールマガジン—

[購読解除] : %cancelurl%

※一旦解除すると再登録できません。

解除の際はお間違えのないようにお気をつけください。

[運営会社] : 株式会社Liberty

[公式ブログ] : <https://f-lifelog.com/>

[公式note] : <https://note.com/kuma7/all>



[公式X(Twitter)] : <https://x.com/tenworldx>

[公式Instagram] :

<https://www.instagram.com/tenworldx/>

[公式YouTube] :

<https://www.youtube.com/@tenworldx/videos>

[運営会社情報] : <https://f-lifelog.com/k>

[メールアドレスの変更] : %change\_mail\_url%

---